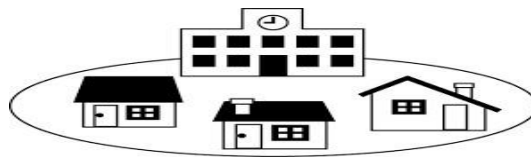


# とうせい 小 コミスク便り



令和3年11月25日  
11月号

## 第2回学校運営協議会が開かれました

9月に予定していた第2回学校運営協議会が緊急事態宣言のため延期となり、10月14日（木）に開かれました。

### ☆全体会でのご意見や質問（2学期の学校運営方針・学校評価中間評価・学力調査結果と生徒指導の状況）



- ・家庭学習の時間は、昔と比べて多く感じる。  
→今は、学年×10分+10分が目安となっており、6年生実施の学力調査結果分析でも1時間以上を目安としている。
- ・東聖小児童は全国と比べて地域行事への参加率が高いとなっているが、学年により格差があるように感じる。  
→6年生を対象とした場合の全国比較では、参加率が高いという結果になっている。
- ・登校渋りや不登校傾向の児童はいないのか。  
→対象児童に対して家庭との連携をとって対応している。

### ☆「挨拶は学校・家庭・地域を繋ぐ魔法の言葉」（築瀬外部評価委員より）

築瀬外部評価委員から本協議会の今年度テーマ「挨拶」についてのお話がありました。東聖地区公民館長時代の挨拶運動の取組経験を踏まえた興味深いものでした。かいつまんで紹介します。

#### ●挨拶の由来

禅宗の「一挨拶」（いちあい いっさつ）を起源とし、現在では「尊敬や親愛の気持ちを表す動作や言葉、文面」などを意味するようになった。

※「こんにちは」←今日（こんにち）は、ご機嫌はいかがですか（気遣い） 誤「こんにちね」

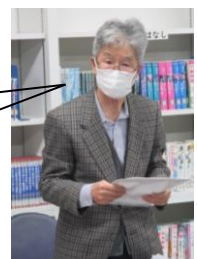
#### ●挨拶のよさ

- ・心のこもった挨拶は、相手の心に近づくための会話のきっかけを作り、人間関係を円滑にする。また、相手を幸せな気分にするには、相手やその場にあった挨拶が大切。

#### ●心のこもった挨拶の実践

- ア 明るく元気な声で
- イ 優しく相手の目を見て
- ウ 柔らかな「笑顔」を忘れず
- エ 軽いお辞儀を添えて

まずは、多くを求めず、自分（達）にできる挨拶を自ら実践し挨拶の心・よさを実感することが大切。



## ☆部会交流

### 【推進部】



後藤昌之 部長

- ・ 次回の会議では、後期学校評価結果速報、2学期の児童の様子を予定している。
- ・ 学校経営全般と本運営協議会の評価時期について整理したい。
- ・ 本日の「挨拶についての話」を基に各部の活動を充実させたい。

### 【支援部】



島田謹介 部長

- ・ 緊急事態宣言を含めたコロナ対応がある中で、工夫しながらできる活動を行った。
- ・ 田んぼの学校のお米パーティーは、可能な範囲で出席したい。
- ・ 1年生と友愛クラブとの昔遊び交流、同窓会入会式も可能な限り実施したい。

### 【評価部】



阿部尚子 部長

- ・ 学校評価で読書習慣の項目が「子ども」「教職員」「保護者」で評価が低く、特に保護者が一番低い。要因を分析し、文言の変更を検討してはどうか。「読書の習慣化」を評価する際の基準を「子ども・教職員・保護者」で揃える必要がある。



## 「生活標語」表彰式



10月29日（金）、東聖小学校校長室にて東聖地区公民館主催「生活標語」コンクールの表彰式が行われました。東聖小学校から5名が入賞しました。

吉澤館長から入賞者へ賞状と副賞が手渡されました。最優秀作品と優秀作品の看板が完成したら、東聖小学校グラウンドのフェンスに掲示されます。

【最優秀】	5年	帯刀くららさん	「こんちは えがおでつつむ はなのまち」
【優秀】	3年	太田空良さん	「こんにちは マスクごしでも ほほえんで」
	4年	小野寺夏美さん	「あいさつで 元気あげたり もらったり」
【佳作】	4年	松柳遙音さん	「あいさつは 心つながる あいことば」
	5年	藤田結楽さん	「あさおきて みんなにおはよ いいきもち」

